



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1430例会 2015年4月1日例会記録 NO.35 天候 雨

【本日】会員数 39名 出席 33名 欠席 4名 休会 1名 出席率 89.18% ビジター 1名
【前々回】会員数 39名 出席 30名 欠席 7名 MC 3名 出席率 94.59%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
 例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
 事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
 会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範
 HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「エイプリルフールの起源」

エイプリルフール（April Fools` day）とは、4月1日に嘘をついてよい、という風習のことです。4月1日の正午までに限られるとも言われている。英語の「April Fool」は4月1日に騙された人を指すのです。エイプリルフールの起源ははっきりとわかっていなくて、色々な説がある。

その昔、ヨーロッパでは3月25日を新年とし、4月1日まで春の祭りを開催していた。しかし、1564年にフランスのシャルル9世が1月1日を新年とするグレゴリオ暦を採用した。これに反発した人々が、4月1日を「嘘の新年」とし、馬鹿騒ぎを始めた。しかし、シャルル9世はこの事態に対して非常に憤慨し、町で「嘘の新年」を祝った人々を逮捕し、片っ端から処刑してしまった。フランスの人々は、この事件に非常にショックを受け、フランス王への抗議と、この事件を忘れないために、その後も毎年4月1日になると盛大に「嘘の新年」を祝うようになっていった。これがエイプリルフールの始まりであるとの説である。

また、インドの仏教徒たちは、3月25日から3月31日までの1週間、座禅を組んで修行したが、つらい修行が終わった4月1日には、悟りの境地から再び現実の世界に戻ってしまう為、からかいの行事を行うようになった事から始まったと言う説もある。

4月1日には、世界中で新聞が嘘の内容の記事を掲載したり、テレビでジョークニュースを報道したりといった手の込んだ事が行われている。

日本では、大正時代に西洋から日本に伝来して広まったと言われている。日本人はしゃれの分からない真面目な人が多いので、あまり広まっていない。もっと、エイプリルフールなどの洒落や冗談が広まれば、うつになる人も少なくなるのではないかと考えている。

幹事報告

【例会変更】

※諫早ロータリークラブ

①日時：平成27年4月10日（金）12：00～

場所：諫早市美術・歴史館

※職場訪問のため

②日時：平成27年4月24日（金）

12：30→18：30～

場所：水月楼

※夜の例会のため

※諫早北ロータリークラブ

日時：平成27年4月2日（木）12：30～

場所：一般道諫早外環状線道路改良工事事務所

※職場訪問のため

※諫早南ロータリークラブ

①日時：平成27年4月6日（月）

12：30→18：30～

場所：諫早観光ホテル道具屋

※書道例会のため

②日時：平成27年4月13日（月）12：30～

場所：諫早観光ホテル道具屋

※百万ドル食事例会のため

③日時：平成27年4月20日（月）

12：30→19：00～

場所：諫早観光ホテル道具屋

※会員卓話のため

【例会休会】

※諫早ロータリークラブ

日時：平成27年5月1日（金）

※定款第6条第1節により

※諫早北ロータリークラブ

日時：平成27年4月30日（木）

※定款第6条第1節により

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

「4月ロータリーレート」1ドル＝118円

※米山梅吉記念館より

「春季例祭」のご案内・賛助会員入会のお願い

日時：平成27年4月25日（土）14：00～

場所：米山梅吉記念館

※長崎県環境部未来環境推進課より

「環境学習等取り組み支援制度の活用促進」依頼

<4月誕生日>

立野 守君 S10年4月13日

川野 弘茂君 S38年4月20日

原田 典範君 S36年4月26日

山崎 祥弘君 S16年4月29日

池松 和彦君 S27年4月30日

< 4月結婚記念日 >

- 清水 輝雄君 S 4 8 年 4 月 1 日
- 木村 暢義君 S 5 2 年 4 月 2 日
- 山本 健志君 H 1 5 年 4 月 2 0 日
- 早田 和彦君 S 4 1 年 4 月 2 3 日
- 松藤 久傳君 S 5 5 年 4 月 2 9 日
- 久保 泰正君 S 5 4 年 4 月 1 5 日 (休み)

◆誕生祝い



◆結婚祝い



吉次 良治君：親睦委員会より花見例会の事でこの後お願い有りニコニコします。ご協力お願いします。

早田 和彦君：まだ、つづいています。近頃尻にしかれた男です。

山崎 祥弘君：74才になります。あつというまです。これからも元気で楽しんでいきたいと思ひます。

原田 典範君：いつのまにか歳を重ねていきます。

池松 和彦君：また、今月、誕生日がやってきます。

松藤 久伝君：いつも思い出させてくださいましてありがとうございます。

山本 健志君：結婚祝ありがとうございます。妻に感謝です。

木村 暢樹君：結婚祝有りがとうござ居ます。いつも幸せです。(38回目です。)

清水 輝雄君：結婚記念祝ありがとうございます。43回目になります。

立野 守君：いつの間にか 80 才になりました。体の疲れは少し感じています。昨日のゴルフで100 が切れませんでした。これが、くやしいです。(張本君と逢いました。)

本日の合計(4/1)	累 計 額
¥ 5 4 , 0 0 0	¥ 1 , 3 2 1 , 5 4 0

クラブフォーラム

1. 会長エレクト・次期幹事セミナー報告 (日高エレクト)



去る 3 月 28 日 (土)、櫻の花もほころび始めた春うららかな陽光の元、唐津ロイヤルホテルに於て、国際ロータリー第 2740 地区の会長エレクト・次期幹事研修セミナー (ペッツ) が開催されました。

太田ガバナー・エレクトの点鐘の後、いつもの流れの様に、開会の辞、国歌、ロータリーソング斉唱が有り、宮崎ガバナー挨拶から太田ガバナー・エレクトの次年度地区方針表明が有りました。その話の中で次年度 R I

委員会報告・その他

・親睦委員会 (吉次委員長)

来週の花見例会ですが、予算不足の状況となってしまいました。会員の皆様の家庭に、提供しても良いお酒がありましたら、持参いただけますようお願いいたします。



スマイルボックス



矢野 京子君 (諫早北ロータリー)：メイキャップでおじゃまします。よろしくお願ひ致します。

辻本 善樹君：矢野京子様御来訪ありがとうございます。桜の満開となりました。花見はしましたでしょうか。来週は花見例会御参加お願ひ致します。

会長 K・R・ラビンドラン会長エレクトの R I テーマ『世界へのプレゼントになろう』が紹介され、地区運営方針として、R I のテーマが世界に向かって発信されているので『地域へのプレゼントになろう』と発表されました。皆さんも、何かおかしい文言だと思いませんか？世界へのとか地域への迄は判りますが、プレゼントになろうと云う日本語訳は変ですよ。プレゼンターならまだ判りますが。ちなみに英語では『Be a gut to the world』です。そして、我々は地域の皆さんから喜ばれる奉仕活動をプレゼントしようと呼びかけられました。それから地区目標として会員の増強 2 名以上と財団への年次寄付を一人 150 ドル、又米山奨学会への寄付を一人 1 万 6000 円を達成しようとの言葉で締めくくられました。

そして休憩の後『論語と算盤』のテーマで 1993 年～94 年度ガバナーの宮島傳兵衛氏の講演がありました。宮島傳兵衛氏は御年 93 才で非常にお元気な方でした。現在も宮島醤油の相談役として活躍されてるそうです。講演の中で昔の人の言葉として『商人は論語を読み、武士は算盤を習え、義利合一』を一つのテーマとして話されました。これを現在に置き変えて見ると、商人即ち企業経営者は職業道德倫理を尊重せよ、武士即ち政治家、官僚は経済学を学べ。最後の義利合一は、企業経営者は職業道德と利害は同一であると説明され、最後に明治の実業家渋沢栄一の人生と近代日本を繁栄に導いた功績を話されました。その中で渋沢栄一と比較されたのが三菱財閥の岩崎弥太郎で、渋沢は資本と経営は別であるとし、対して岩崎弥太郎は資本と経営は一緒であるとの考えで、これは育って来た過程が根本的に違うとの見解を示されました。御高齢の為、聞きづらい所もありましたが、有意義な講演でした。

セミナーの最後に隅田パストガバナーの講評がありましたが次年度の R I テーマ『世界へのプレゼントになろう』は何を言いたいのか、全く理解に苦しむと苦言を言われ、訳の間違いを指摘され、笑いの内に予定通り終了し、有意義な研修セミナーでありました。ありがとうございました。

2. 委員会卓話：会報・広報委員会（山本委員長）



今回の卓話は、会報・広報委員会の裏方の仕事についてお話させていただきます。大きく分けて 2 つの作業があります。毎週発行しております週報の作成とクラブホームページの更新です。まず、週報ですが例会前に出来上がったロータリーの友やガバナー月信、週報を各会員のポストに投函する作業を宇土会員にさせていただいております。原稿の収集、カメラ担当、原稿まとめを奇数月は私で偶数月は原田会員に担当をさせていただいております。私たち広報委員会では、作業効率のアップと情報処理能力を構築するためにインターネットを上手く活用しております。

例会後に、カメラで撮った画像は持参したノートパソコンにデータを落とし、例会毎にフォルダーを作成して週報用とホームページ用とに分けて保存します。(この時画像サイズを縮小する作業を同時に行います) 会長の時間の原稿は会長より直接メールでいただき、幹事報告は事務局よりメールでいただいております。当日、いただいた手書きの原稿はスキャナーで読み取り、添付資料として同フォルダーに保存します。全て原稿が揃うと昭文社印刷担当者に週報概要（指示書）を作成します。この時、メールでいただいた原稿をコピー and ペーストし、画像をどこで使用するか等表示し、週報の原稿を作り上げます。できた週報原稿のファイル（概要・画像・添付資料）は Web 上の諫早西 RC 専用の dropbox に保存し、お互いに資料を共有しております。ホームページでは週報をベースに基本フォームを利用し、出来るだけ会員の写真を多く掲載するよう心掛けております。他のクラブにないような要素を沢山取り入れております。ガバナー月信・ハイライトよねやま・週報はデジタル化しておりますので、その場でタブレット、スマートフォン等で読むことができるし、個人でデータ保存もできます。会長の時間の話や各委員会の事業報告も見る事が出来ます。毎例会の食事メニューや画像、ゲスト・ビジターの紹介などをさせていただいております。前年度の HP も継続して見る事ができます。HP をしっかり作りこんでいくことで記録保存の役目をしっかりできると思います。動画をもっと取り入れる事が出来れば素晴らしい HP ができそうです。この委員会に携わって思うことは地味な仕事ですが幅が広く奥が深い、やればやるほど成果が出るものだと感じております。遣り甲斐を感じております。これからも宜しくお願いします。